

# 保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2011年  
12月19日(月)  
第56号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

## 墨田区職労の取り組み

# 東京スカイツリー周辺の商店街で「ポスター・チラシ・署名大作戦」

墨田区職労保育園支部は、今年も公的保育を守るための宣伝行動を積極的に展開してきました。しかし、保護者向けや駅頭宣伝ばかりではなかなか地域にまで運動が広がらない、このままでいいのか、何かいい方法はないか、などの声があがりはじめていました。

そこで、今年、東京自治労連本部から行動提起された「ポスター・チラシ大作戦」を受け、少しでも「新システム」の中味について知ってもらおうと、完成間近い東京スカイツリー周辺での宣伝行動を日曜日の10月23日に計画しました。

当日は40名以上の組合員が集まり、“ポスター・チラシ班”と“署名班”に分かれて行動しました。

まず、午前中に“ポスター・チラシ班”がスカイツリー近辺の業平・押上地区の商店街をサンドイッチマン姿（体の前後にポスターを貼って）になった三役を先頭に、一軒一軒ポスターを貼らせてもらえそうなお店を探し交渉へ…。

「断られたらどうしよう…とドキドキしながらドアを開けた」という組合員もいましたが、実際には快くOKして下さった商店も多く、「悪いけど貼ってあげられないよね。」と言われた所でも話を聞いてくれたり、チラシを受け取ってくれたり、好意的な反応にホッとしました。

午後は“署名班”。色とりどりの風船と「公的保育制度を守ろう！」の横断幕を携え、スカイツリーストリートへ。区内の住民より区外（都外）からの観光客が多い中でしたが、子ども連れの父母や祖父母の方々、妊婦さんなどから多くの署名を集めることができました。中には「ああ、それ、もう子どもの保育園で署名しました。」という方もいて、少しずつこの運動の広がりも感じられました。

署名数は100筆に満たない数でしたが、地域の中に入っての新たな行動となりました。



## 板橋区職労の取り組み

# 保護者・地域に宣伝。200人の学習会開催

板橋区では、自分の勤務する保育園の門前でビラ配布や署名行動が行えない状況にあります。そのため、近隣の保育園と協力して、互いの保育園の門前で保護者に訴えるという手段を取っています。そして、今回の署名活動においては回収率を上げるため、郵便局の「料金受取人払い」制度の利用を試みました。

また、土日には駅頭、商店街付近での地域署名活動を実施。組合員が中心となって1時間で100～150筆という成果を上げました。世間では「新システム」の情報は知られておらず、地域宣伝活動を通して公的保育の意味と公立保育園の存続を訴えることができました。そして、今後もこのような行動が必要であると実感しています。

同時に組合員に対して「新システム」についての理解を深め、運動を広げる取り組みとして、10月に学習会を実施しました。大勢の組合員に学習してもらうために、区内を細かく区切り、8か所での地域別学習会を開催したところ、合計200名を超える参加がありました。組合員の力を結集して目標に近づけようと一人10筆署名を取り組み、現在2000筆を超える状況にあります。組合員への意識を高めつつ、まだ取りきれていない署名を回収し、運動を展開していきたいと思えます。

**【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。配信希望者は氏名と所属、「保育闘争委ニュース希望」と明記し、パソコンよりメールでお申し込みを。内容を圧縮した「携帯メールニュース」は携帯からメールでお申し込みを】**